

質問	メサラジン錠 250mg「ケミファ」は簡易懸濁法での投与は可能ですか？
回答	メサラジン錠 250mg「ケミファ」は、55℃の温湯で規定時間内に崩壊・懸濁せず、通過性試験では残留物がディスペンサー出口を閉塞し、試験自体を実施出来なかったことから、経管投与に適さないと判定されました。詳しくは添付のデータをご覧ください。 本資料の情報に関する注意：本資料には承認を受けていない品質に関する情報が含まれます。試験方法等が確立していない内容も含まれており、あくまでも記載されている試験方法で得られた結果を事実として提示しているものです。医療従事者が臨床適用を検討する上での参考情報であり、加工等の可否を示すものではありません。
参考資料	【簡易懸濁法に関する資料】_メサラジン錠 250mg・500mg「ケミファ」